



杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2017年 11月 1日発行

11月号 向日市上植野町西小路3-4
No. 81 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

衆院選 安倍政権は国民の信任を得たのか？ 数の横暴は許されない



杉谷伸夫・62才
向日市議会議員・無所属
上植野町イートピア在住

突然の国会解散から総選挙まで激動の1ヶ月が過ぎ、終わってみれば自民党の圧勝でした。投票率は前回に次ぐ史上第二位の低さ。そもそも国会解散の大義もなく、国民にとって何のための総選挙だったのでしょうか。私は、この総選挙の最大の課題は「憲法改悪を進める勢力」を減らすことだと考え、改憲反対を明確に公約している共産党を支持しました。結果は、希望の党設立と民進党の解党・合流で立憲野党の共闘が崩れ、改憲勢力が議席を増やす残念な結果となりましたが、急遽立ち上がった立憲民主党が無党派層の大きな支持を得て躍進したことは幸いです。

自民圧勝とは言え比例区の得票率は33%にすぎず、立民・共産・社民の立憲3野党の得票率合計29%と大差なく、希望の党を加えた47%よりずっと少ないのです。小選挙区制と野党の分裂で勝ったのであり、国民の信を得たとは言えません。安倍首相は、議席の数の力で何でも押し通す手法に国民の批判が集中したことを忘れてはなりません。憲法9条の改悪、原発再稼働、社会保障の解体など、民意に反した政策を強行させないよう、向日市議会の中からも働きかけてゆきます。(10月29日・杉谷伸夫)

市民のご意見から

●(宅配の仕事の方から)

配達途中、向日市の施設を使うことがよくあるのですが、最近公衆トイレがとても汚いことが多くなってきています。詰まったまま何日も放置されていたり、落書きやごみの散乱、トイレトーパー設置の場所では盗難されていたり。公園内もあまりきれいでない時も見受けられます。定期的に清掃、見回りできないでしょうか？市民ふれあい広場や寺田東公園のトイレは、今は新しくきれいですが、時間の問題ではないかと心配しています。

取り組みの予定

★11月11日(土) 寺戸公民館・中会議室

「市民参加でまちをつくる会」

向日市まつりでの「沖縄戦と沖縄・京都の米軍基地」写真パネル展示の企画・準備をします。

★11月18日(土) - 19日(日)

向日市まつりで、写真パネル展示

「沖縄戦と沖縄・京都の米軍基地」

(競輪場内の屋内展示コーナーにて)

連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



コミュニティ・バス

ルート案出る

今後、パブリックコメントへ – 皆様のご意見を!

10月18日、向日市地域公共交通会議が開かれ、「コミュニティバス実施ルート案」が会議にはかれました。この会議で出された意見をふまえて、「バスルート案」をまとめ、パブリックコメント（市民意見の募集）に今後かけられることとなります。

※提案されたルート案や収入面の試算、地域公共交通会議委員の名簿その他会議に提出された資料は、向日市のホームページからダウンロードできますので、ぜひご覧になってください（過去の会議の議事録・資料も）。

向日市ホーム → 市政 → 審議会・委員会・懇話会など → 市民生活部 → 向日市地域公共交通会議



採用が検討されているバス＝ローザ26人乗り

審議会を傍聴して

2年前の12月より向日市地域公共交通会議で、「向日市に新たなバスを走らせる」ことを前提にした議論が開始されて約2年です。昨年夏には市内各地で市民が参加してバスルートの検討を行いました。そして今、ようやくバスルート案がまとめられつつあります。

バスルートが決まったら、次はバス停の場所決定、運賃の決定などとなります。「まず走らせ、改善していく」方針で、最初は南北2ルートを1方向に巡回運行したいとのこと。往復運行だとバス停の設置箇所が2倍となり、決定に時間を要するとのことでした。

パブリックコメントが募集されたら、意見を積極的に出していただきたいと思います。コミュニティ・バスが走った後で「こんなんやったら使えない」とならないように、今こそしっかりチェックしましょう。コミュニティ・バスが成功するかどうかは、私たち市民の関心の高さにかかっています。（杉谷伸夫）

提案されたルート案のポイント

- 南北各1ルート
北ルート・南ルートとも、1方向巡回ルート（反時計回り）
- 運行時間・便数
南北ルート各1時間に1本。平日のみ運行
午前9時～12時：各3便
午後1時～5時：各4便（1日計7便ずつ）
- 運賃：200円（仮）
- バスの車種：ローザ・ショートボディ
26人乗りマイクロバス
（長岡京市のはっぴいバスと同等）
車イス乗車対応可能

提案された主な停留場所候補

（バス停名ではありません。この付近という意味です）

<北ルート>

市役所 → 図書館 → 寺戸区事務所 → 市役所東向日別館（建設中） → JR向日町駅 → イオンモール西側 → 阪急洛西口駅 → 御所海道交差点 → 中海道交差点 → （北ノ口） → 中海道交差点 → 御所海道交差点 → 物集女車塚古墳 → 第2向陽小学校南側 → 図書館 → 市役所

<南ルート>

市役所 → フレスコ → 勝山中学校 → 業務スーパー → 向日町郵便局 → イトーピア北東交差点 → （外環状線） → 上植野浄水場 → ゆめばれあ → 市民体育館 → （前田地下道） → （寺戸森本幹線北上） → 向日市役所東向日別館（建設中） → 寺戸区事務所 → 図書館 → 市役所

台風21号

向日市民7千人に避難勧告 防災情報の改善検討を!

10月23日未明、超大型台風21号により桂川が氾濫危険水位に達し、向日市の一部地域（約3,100世帯、7,000人）に避難勧告が出されました。幸い向日市内では大きな被害はありませんでしたが、防災情報について考えました。

桂川氾濫の危険による避難勧告は向日市では初めてだと思いますが、指定避難所への避難者は2世帯5人だけでした。その理由を推察すると、
①勧告発令が深夜の2時すぎで、ほとんどの方は屋外避難は危険と判断した。また避難勧告が出たことを知らない方もかなりいたと思われる。
②向日市内での雨の降り方は激しくなかったことから、命に関わるような水害に見舞われることは

ないだろうと多くの方が判断した。

確かに向日市内の雨は、時間最大雨量=11ミリ、総雨量=165ミリと、過去の大雨と比べると大したことはなかったにも関わらず（下表参照）、桂川の水位は氾濫危険水位に達したわけで、向日市民の体感と実際の水害の危険度は大きく違うことがあります。

結果的に、市民の判断は正しかったわけですが、夜中に何度も何度も警報や洪水情報のメールが届き、ついに避難勧告が出されたにも関わらず、ほぼ全てに近い市民が「(屋外)避難しない」という選択をした「避難勧告」って何なのか?改善を考えてゆかなければと思います。

何が違うの?



なお向日市役所は、22日(日)午後から23日(月)朝まで災害対策本部を設置し、市長、副市長、教育長以下職員62名が参集して対応しました。

今回の雨量・桂川の水位と近年の大雨の比較

(向日市発表資料、国交省データベース等より杉谷が作成)

年月	台風	時間最大雨量	総雨量	水位(桂観測所)	備考
2013年 9月	台風18号	41mm	275mm	4.83m	桂川数力所で越水
2014年 8月	台風11号	46mm	273mm	4.24m	
2017年10月	台風21号	11mm	165mm	4.00m	向日市で避難勧告

シリーズ 原発事故 ⑰

原発賠償京都訴訟が結審 判決は来年3月15日

福島原発事故により、今なお福島県だけで県外へ約3万5千人、県内へ約2万人の方々が避難生活を強いられています。避難者が全国各地で東京電力と国に損害賠償を求めて裁判をしています。9月29日、京都への避難者57世帯174人が提訴した京都訴訟が結審し、裁判傍聴と報告集会に参加しました。判決は来年3月15日です。

裁判で川中宏弁護士団長は「総理大臣が『状況は統御され、健康問題は今までも、現在も、これからも全くない』と今もウソを押し通すわが国。原告の要求は、憲法13条幸福追求権が保障する当たり前の要求、権利だ。その熱き思いを受け止め、

『希望の裁判所、であってほしい』と最終弁論。その後、原告団共同代表の2人が最終意見陳述をおこないました。

●萩原ゆきみさん「私たちの心と身体は傷つきすぎて一杯一杯。本来なら黄色いドラム缶に入れて管理するような土地で生活、子育てするなんてあってはならない。避難の正当性を認めてください」

●福島敦子さん「誰もが持つ被ばくしてはならない権利を訴え続けてきた。『命』の問題として訴えます。裁判官は勇気をもって後世に明るい展望を持てる判断を」

最後に、浅見宣義裁判長が「真摯な問いかけに答えを出したい。協力を得て今日まで来られたことに感謝したい」と異例の発言。判決が大いに期待されます。

原告団、支援する会は、判決期日まで公正判決要請署名や手記集『私たちの決断』などへの協力を呼びかけています（「原発賠償訴訟・京都原告団を支援する会」のホームページ、ブログ参照）。

(杉谷伸夫)

漁夫の利を得た 安倍首相

安野 洋子

今回の衆議院選挙は、野党のゴタゴタで安倍政権を勝たせてしまったようだ。今度こそ「安倍政治を許さない」の札を自宅の生垣からはずせると思ったのに。自民党を支持しても安倍首相は嫌いという人が半分以上いたのに。小選挙区制度の恐ろしさを、つくづく感じさせられた。

この野党の大失敗の原因は、「民進党」の前原代表と「希望の党」の小池代表にあったと思う。前原代表は小池代表と基本的なことも詰めないで、よくも民進党全員が小池新党に加入すると言ったものだ。「全員を受け入れることは、さらさら」「排除します」という小池代表の言葉に唾然として、みんな気持ちが引いたと思う。上から目線のような言葉を発したけれど、自分は選挙に出ないという態度で勝てると思ったのか。市民

をなめているのではないか。

でもそのことによって、選別を拒否する人々から「立憲民主党」が生まれたことは良かった。これは「怪我の功名」と言うべきか。私の支援している辻元清美さんは、いち早く「立憲民主党」に参加したが、古くから親しくしていた山井和則さんには「立憲に！」と手紙を出した。泉健太さんには、その激励会に参加して苦言を呈した。

私自身、この選挙に熱心になったのは、改憲勢力3分の2を阻止したかったからだが、残念ながらできなかった。でも諦めない。最後は「国民投票」で半分の賛成を得なくてはならないのだから。

選挙の結果に落胆した次の日、ベ平連（ベトナムに平和を！市民連合）の援助で横須賀に停泊した米空母イントレピットから脱走し、ソ連からスウェーデンに逃れた兵士の一人が、50年ぶりに来日し講演会をした。彼は、「戦争や軍隊の現実を直視する機会にしてほしい」と述べたが、その抵抗の人生をきたた人の話は迫力があつた。アメリカも日本も強大な軍事力を持ち、「核」の威力で他国を脅している世界は、どんどん平和から遠ざかっているようだ。アメリカでも日本でも、反戦運動をしたことなど遠い昔になったと思う。これから世界はどう動いていくのだろうか。

シリーズごみ問題を考える⑥

古紙は資源だ！ 集団回収への支援を

「杉谷ひろば」10月号で、家庭ごみ量は年々減っていることを書きましたが、市民の方から「向日市は古紙を燃やすごみとして扱っていることは問題だ。住民団体による古紙集団回収は地域作りにも貢献する。補助制度を設けるべきだ。」とのご意見を頂きました。向日市は、決して古紙を「燃やすごみ」としてはいいませんが、資源ごみとして回収しておらず、民間の回収業者まかせになっています。また別の市民の方から、「最近、古紙回収業者が来なくなって近所の皆さんが困っている」とのご意見も寄せられました。

調べたところ、次のようなことがわかりました。

- ①向日市は古紙の回収について関与しておらず、民間業者の回収の実態を把握していない。
- ②一方、多くの市町村は古紙を行政回収するか、

自治会や子供会等の集団回収に補助金を出して古紙回収を促進している。京都府下で行っていないのは、向日市のほか数市町だけ。
③長岡京市は20数年前から古紙等の集団回収への補助をおこなっ



ている。市民一人当たりの燃やすごみ量が向日市より長岡京市の方が少ない一因は、ここにもあるのではないかと。また長岡京市は、今年度から集団回収場所の多くを公表し、その地区以外の一般市民が誰でも古紙等を出せるようにした。

④向日市の家庭ごみは年々少しずつ減っているが、ごみ量を大きく減らしてしる市町村がたくさんあり、古紙や雑紙回収などに熱心に取り組んでいる。

最大の資源ごみである古紙類を燃やさず資源として回収することは、環境面でもコスト面でも重要です。向日市はどう取り組んでいくべきか、これから議会でも取り上げてゆきたいと思います。